

◆はぐくみ井戸端・見守り会議 平野区瓜破西小学校区はぐくみネットの取組

令和6年8月28日の午後6時半から、瓜破西小学校の多目的室で、令和6年度第1回「はぐくみ井戸端・見守り会議」が開催されました。

PTA役員と校長先生のあいさつの後、今年度の初回ということで、参加者の自己紹介がありました。町会長、PTA役員、社会福祉協議会コーディネーター、いきいき活動運営指導員、はぐくみネットコーディネーター、見守り隊など、また小学校校長先生の計18名の参加がありました。

まず地域からの連絡として、地域行事である子どもまつりについての案内があり、続いて、最近の子どもたちの様子についての情報提供がありました。夕方に地域内の路上を徘徊していた高齢者に声をかけられた小学生が、様子がおかしいと思い、地域の大人に知らせてくれたことで、その高齢者をご自宅に送り届けることができた、という報告がありました。子どもたちの気づきと対応のおかげで、危険な事態を回避できたと、子どもたちへの感謝と感心の気持ちが伝えられました。

また、学校の出前授業に参加した方が、学校での子どもたちの様子についての印象を伝え、学校からは、学校の現状を知っていただける機会があることはありがたい、との意見がありました。

次に、見守り隊からの連絡がありました。見守りの活動を通じて、コミュニケーションの大切さ、あいさつの大切さを、子どもたちだけでなく保護者も含めて広めていきたい、瓜破西地区全体をそういった方向にもっていけたら、とのお話がありました。



見守り活動としては、メンバーの高齢化など、見守りに関わる人が少なくなっていること、活動の継続について課題があるとのお話がありました。PTAでも課題意識があり、「ながら見守り活動」を保護者に呼びかけたいとの提案がありました。「買い物や仕事帰りに通学路を通る」「犬のお散歩の時間帯を下校時刻に行う」といったことで、無理なく子どもの安全に目を向け、防犯にもつながることが期待されとの考えからだそうです。このことについては、運動会や文化祭など、保護者が集まる機会にアピールしてはどうかというアドバイスがありました。また6年生から見守り隊の方に「長い間ありがとうございました」との声をもらい、とてもうれしかったとの感想も伝えられました。

その他、「子ども110番の家」の旗を掲げる店や家についての募集の説明もありました。

「井戸端会議」という場を通じて、地域と学校が、子どもたちの様子や、子どもたちに関わる課題などについて自由に意見交換や情報の共有がされていました。「子どもたちにこんなふうに育ってほしい」というイメージを共有できる場にもなっているようです。



訪問日：令和6年8月28日（水）

場 所：瓜破西小学校多目的室